

## 新庁舎建設特別委員会の概要（第11回）

- 1 日 時 令和2年3月11日（水） 11時15分～12時05分
- 2 場 所 第1議会委員会室
- 3 出 席 全委員
- 4 内 容 1 新庁舎の整備について  
2 その他

### 配布資料

#### ① 新庁舎整備事業 候補地の比較（課題の整理）

- 今後の委員会の進め方に当たり、委員長から「①前平候補地について、②防災対策について、③駐車場について、④市商業ビルの現状と今後の対応について、⑤賑わいの創出について」の5テーマで話し合うことについて提案があり、委員間で協議を行った。

#### 【委員会で出た主な意見】

- 4候補地について、1つずつ検討していくべきでは。  
→（委員長） 委員会としては、1回につき1テーマに絞って議論を深めていくこととしたい。ご意見があればテーマを検討していく。
- まずは、最優先候補地である美濃太田駅周辺と前平候補地について深掘りした方がよいと思う。
- 美濃太田駅周辺を最優先候補地として考えていくなれば、問題となっているのは防災、駐車場、にぎわいの3つのテーマであると思う。前平は別の候補地であるため、優先順位をつけて議論すべきである。また、市商業ビルについては、新庁舎建設とは別の観点で議論すべきである。
- 委員会1回につき1テーマを丁寧に議論していく方法に賛成である。
- 市民にどういう情報を伝えるかということが大切である。去年の市長と語る会では、ほかの候補地についても市民に説明することになっているため、4候補地を深掘りしていくべきだと思う。
- 4候補地について議論をしないと市民が納得しないと思う。  
→（委員長） 現庁舎周辺、美濃太田駅北側スーパー周辺の候補地を除外するものではない。市民に説明できるようにしていく。また、候補地を切り口にする方法もあれば、防災などテーマごとに候補地を比較する方法もある。委員会1回につき1テーマの議論を深めていきたいと考えている。どの部分に絞って議

論するのか、ご意見を伺いたい。

- この項目があるからこの候補地は難しいというような視点で議論し、候補地を絞っていくのはどうか。
- 新庁舎をどこに建てるのかということだけではなく、新庁舎を活用したまちづくりをしていくということが大前提である。議論をするときは、どういうまちづくりをするかということを念頭に置くべきである。大テーマに基づいた場所の選定が大切である。
- 次回の市民へ説明を行う機会までには、議会としても説明できるようにすべきである。
- 2月10日の特別委員会において提示された、候補地の比較の資料について話し合うことも大切ではないか。
- （執行部） この5つのテーマが全てではない。2月10日の特別委員会でご質問があったものを今回テーマとして上げさせていただいた。現庁舎周辺や美濃太田駅北側スーパー周辺を取り上げないということではない。
- 議論に当たり、最終的なスケジュールは。
- （委員長） 委員会として回数は決まっていないが、早めに議論をして結論を出していけるような形としたい。
- 前回の資料の中で4つの候補地のメリット、デメリットの比較があったが、それを1つずつ消化していくことが大切である。長い時間をかけるよりも1回で議論していくべきだと思う。
- （委員長） 執行部が調査・研究するに当たり、資料作成の時間も必要である。委員会の進め方としては、1つ1つテーマを絞っていきたい。次回は、前平候補地について議論し、その他に関連する項目について議論していきたいと考えている。
- 今まで議員同士の議論をしてこなかったと思う。議員だけで議論する場を設けてはどうか。
- 議員だけで議論をしたことはあったが、候補地についての情報を持ち合わせていなかったため、その時点ではなかなか議論が深まらなかった。2月10日の4つの候補地の資料を尊重して、議論を深めていきたいと思う。
- 議員のそれぞれの考えを吐き出して、執行部の補足説明も聞きながら議論を進めていけばよいと思う。
- （委員長） 市の考えも確認しながら議論をしていかないといけないため、執行部にも同席してもらった方がよい。
- 全員が前に進めるという気持ちを持つことが大切である。
- 未来のまちづくり委員会では4つの候補地のメリット、デメリットを議論された結果、答申を出されているので、その答申の内容を十分理解することも大切だと思う。

【まとめ】

- 次回は「前平候補地について」と2月10日の候補地の比較の資料をもとに議論していくことを確認した。また、1回当たり1テーマで議論をしていくことも確認し、委員会を閉会した。